

湯布院町災害史

時代	年号	西暦	事 項
平安時代	仁寿元年	851年	10月、天下大地震。由布山、石松、山崩れ
安土桃山時代	慶長元年	1596年	7月1日より大地震連日。同7日夜風雨暴烈、椿山鳴動し、山崩れ。馬場・八川両村流亡。 7月12日、興禅院、地震・山崩れにより壊滅。14世至峰玄祝大和尚殉職。 8月6日、塚原村字戦川の上、高岩の人家30戸、由布山崩れにより流失。温湯の池(金鱗湖)、津江山の山崩れで埋没
江戸時代	元和2年	1616年	大雨・洪水により由布山・津江山、山崩れ。嶽下・石松等数村の人家埋没 6月、温湯の池、津江山の山崩れで埋没
	元禄15年	1702年	由布山爆発する。?
	元禄16年	1703年	11月22日、大地震数日間。湯山・和歌山の谷が山崩れ。乙丸村、若宮八幡宮の鳥居折損 同日夜大地震、24日まで止まず。山崩れ死者多数。興禅院破壊
	享保10年	1725年	湯平で山津波が起こり人家が埋没し、多数の死者が出る。
	文化3年	1806年	秋、由布嶽山鳴り、地震連日。麓の寺院、庭が裂け開くこと数尺、長さ数十尺
	嘉永3年	1850年	8月7日、大雨、洪水。六所宮の杉、湯の坪の湯屋倒れる。 同月18日夜、石松の天神谷・鳴子川谷崩れる。
明治時代	明治23年	1890年	8月、大洪水。塚原の水田20町歩、家屋7棟が流出。陰暦8月10日、午後10時頃より暴風雨。由布山北の塚原に接する山腹水脈が破裂。土石が噴出し、田地数町歩流失
	明治26年	1893年	10月13日～15日、大洪水により河川堤防のいたる所が大破
昭和時代	昭和5年	1930年	4月25日18時16分、地震。南・北由布村で強震。仏光寺の弘法大師像倒れ、北由布駅付近の温泉が止まる。
	昭和21年	1946年	12月21日4時19分、南海大地震、震度5.2。乙丸・湯の坪・石松・山崎の温泉湧出量に影響が出た。西石松の県道沿いに東西約800メートル地割れする。
	昭和25年	1950年	9月12～13日キジヤ台風による暴風雨盆地内水田約10町歩浸水、白滝川の立川橋が決壊寸前になる
	昭和28年	1953年	6月25～29日、集中豪雨降水量818ミリ。家屋・農作物に大被害、由布盆地の稲がほとんど冠水。久大線約1ヵ月不通、警官1名殉職
	昭和29年	1954年	8月16～18日、台風5号による大雨で降水量414ミリを記録。城橋流失
	昭和50年	1975年	4月20日夜、西空の山の稜線が真っ青に光っていた。21日午前2時37分大分県中部直下型大地震発生、九重レークサイドホテル崩壊、マグニチュード6.4烈震。湯平温泉扇山林道に巨石崩落通行止め。花合野川右岸の崖にひび割れ、温泉場入口左側約80m地点の民家押し出され、道路側面の水路が家の中に入って来た。町内の家屋等の被害甚大。
昭和57年	1982年	8月27日、台風13号により塚原霧島神社境内に土砂流入	

湯布院町災害史

時代	年号	西暦	事 項
平成時代	平成3年	1991年	台風19号により六所宮杉144本倒れる。由布盆地内・塚原別荘屋根・倉庫・瓦多数吹き飛ばされる等被害甚大。
	平成28年	2016年	4月14・15・16日熊本・大分大地震震度6強・5強。被害甚大。同月29日15時9分震度5強大分中部大地震被害拡大。町内の多数の神社・寺院の本堂等破損、鳥居、石塔、石仏倒壊多数。仏光寺敷地内南北3cm東西15mの地割れ。県道11号線(旧佐賀県道)内徳野から水分峠の一部路肩車線半分崩落通行止め発生。大分川・宮川に架かる橋の路面と取り付け道路の段差が大きい所で約3cm発生した。久大線に架かる山崎陸橋取付道路に大きな陥没・亀裂が走り通行止め、同じく中依陸橋取付道路と陸橋の段差13cm.側面の土止め崩壊。道路には東西約3cm南北約20mの亀裂数筋有り通行止め。由布岳大崩の崩壊拡大。椿山崩壊拡大。狭霧台展
令和時代	令和元年	2019年	8月6日台風8号で宇奈岐日女神社の杉50本以上倒木、湯坪児童公園樹木根こそぎ倒木外有り
	令和2年	2020年	7月7～8日豪雨で湯平の花合野川が氾濫、537号線の一部が流され、避難中に2台の車が流される。4名が死亡。温泉場の鉱泉が破壊され中の湯・砂湯・銀の湯・橋本温泉が不能となる。砂湯は破壊された。川西奥江線・佐賀県道崩落により通行止めになる。
	令和4年	2022年	1月22日日向灘沖地震湯布院震度5弱、一部道路亀裂、壁亀裂有り 大分市5強

(湯布院町誌外)